

謹啓

過日は余も理北海道大会を大柄な終え、これの二席に  
太田後一様を中心とする地理研会員の皆様の賜と心より御礼申  
ます。

二日間の運営もまたあれをれ連携がとられ、見事でした。二二の  
気取り、御配慮に深く感謝申しと申す。

一番好きと思したのは三会場の子供たちの意欲的な一人一人の姿で  
した。いつも会場校で鍛えられていると云え、発言の様子、観察実験  
もやりなりの誇り、念いノートの記録どれも手本となるものなり。た  
指導の中身については課題もあつたかも知れませんが、それ以上に  
子供たちの活発さは素晴らしいので、これは三校の子供たちとも  
今共通していました。そのおかげで、今までの地理研の積り重ね  
があり、又各学校の終業者のポリシーと共鳴し乍ら出来上つたもの  
だと強く感じます。

是非三校の校長先生方にお話ししたいこと、今回の余理の授業  
をより一歩理科好きの子供たちをたくさん増やして、ご自身の終業  
の中、これらとらん理科の問題解決の強みをもり入れていく  
下、というつもりです。

若い先生方が増えていく中で、今までの良さもものと伝えたいという人材  
育成の使命が管理にはあります。今回の大会が人材育成にとも  
よいつかりになつて発展していくことを願っています。

本来もしたら一校一校の校長先生に所屬の先生方にお礼  
を述べるところですが、失礼ながら太田後一様の方から直々  
お伝え下さい。三校の子供たちは素晴らしいものでした。

そして、子供を支える三校の会場校の先生方の努力する  
姿も大変に頼もしく感じました。

全小理といたりましても、今回の大会を提案された喜びの  
中身と学習指導要領改訂に向けたいい参考に  
入れるよう御返事を申し上げます。

終わりにいたしますが、北理研の登壇の発展充実に  
岡山小、二条小、中央小の皆様の御多幸  
も祈念し、御礼の言葉に返さずと申し上げます。

誠に有難うございました。

敬白

平成二十六年一月二〇日

全国小学校理科研究協議会長 安齋正彦 

全小理北海道大会実行委員会  
委員長 太田俊一様

札幌市立円山小学校  
校長 水島誠治様

札幌市立二条小学校  
校長 中島啓子様

札幌市立中央小学校  
校長 遠藤裕志様